

## 救助工作車Ⅱ型の更新について

## 1. 車両イメージ



## 2. 新規装備

## (1) クレーン装置

- ・車両の横転・転落、重量物の下敷き事故などでは、現在、主にロープやワイヤー、ジャッキ等を使用して対応しているが、状況によっては、クレーン業者への要請の必要が生じ、救助までに時間を要する場合がある。クレーン装置を装備することにより、より安全かつ迅速な救助活動が可能となる。

## (2) ガス溶断器

- ・ステンレスやアルミ合金、厚い鋼材等は、現在装備しているエンジンカッター等では切断が困難であるが、酸素ガスを使用するガス溶断器を用いることで簡単かつ迅速に切断でき、迅速な救助活動が可能となる。

## (3) 化学剤検知器

- ・有機リン系農薬等による化学災害やサリン等の神経剤によるテロ等の発生時には、使用された化学剤の種別を早急に検知することが重要である。化学剤検知器を用いることで、その種別に応じた、除染などの応急処置の実施や二次災害の防止、特殊部隊の応援要請などの的確な対策を行うことが可能となる。